

<校訓>

高志共生

大庄中通信

大庄中学校
H27年度 第2号
(H27.4.17金)

新学期 順調にスタート

新学期が始まって10日になりました。

1週目は、着任式・始業式、離任式、入学式、対面式、身体測定などがあり、2週目に入って、クラブ・委員会紹介と2・3年生は課題テスト、1年生の校外学習(武庫川)もありました。全校生徒が集まっている場面や授業中の様子を廊下から見ると、どの学年も、落ち着いた順調な新学期のスタートができているようです。ほとんどの生徒が、進級・進学をきっかけに気持ちを新たに、あるいは気持ちを入れ替えてがんばろうとしてくれているのだな、と感じました。

この1年が、それぞれの「夢に近づく中学校生活」の中で、有意義な1年間になることを祈っています。

「全国学力・学習状況調査」 & 「尼崎市学力・生活実態調査」

来週の火曜日、3年生は、「全国学力・学習状況調査」があります。そして、1・2年生は、尼崎市学力・生活実態調査があります。ということは、来週の火曜日は、3学年とも「学力調査」の1日ということです。定期テストや授業中の小テストのように、「範囲は教科書の何ページから何ページまで」という連絡はありませんから、テスト勉強がむづかしいのですが、できる範囲で、この週末はこれまで学習した内容の復習や苦手分野の克服などの学習に取り組んでくれることを願っています。

尼崎市学力・生活実態調査(1・2年) 前回の内容

この調査は、今の学年の前年度までの学習内容が範囲です。前回(24年度)の各教科の「問題の内容」をお知らせしておきます。今回は、多少変わりますが、週末の学習の参考にしてください。

【1年】

- 国語** ①適切な言葉を選び話すこと ②話し手の意図を考えて聞くこと
③適切に話し合うこと ④書く事柄や組み立てを考え書く ⑤文のつながりや表現を工夫し書く
⑥説明的な文章を読むこと ⑦文学的な文章を読むこと ⑧語句の構成を理解すること
⑨文の構成について理解すること ⑩漢字を覚えて正しく使うこと

- 社会** ①日本の国土と環境 ②日本の産業とその特色 ③原始から古代の歴史 ④武士の世の中
⑤近代・現代の歴史 ⑥私たちの暮らしと政治 ⑦私たちの暮らしと情報・通信

- 数学** ①少数のしくみとその計算 ②約数・倍数 ③分数とその計算 ④文字を用いた式、百分率の関係式



- ⑤平面図形 ⑥立体図形 ⑦比例や反比例 ⑧資料の調べ方 ⑨起こりうる場合
⑩平均、単位量あたりの大きさ

- 理科** ①この働きとふりこの運動 ②電流の働き ③ものの燃え方 ④水溶液の性質 ⑤ものの溶け方
⑥ものの温まり方や体積の変化 ⑦人のからだのつくりと働き ⑧植物の成長とからだのつくり
⑨星や月の動き ⑩天気の変化のようす ⑪大地のつくりと変化

【2年】

- 国語** ①意図を考え聞き、工夫して話す ②目的に沿って適切に話し合うこと
③身近に課題を見つけて書くこと ④伝えたいことを明確にして書くこと ⑤文章を推敲すること
⑥文章の展開に即して読み取ること ⑦文章の特徴に注意して読むこと
⑧論理の展開や構成を読み取ること ⑨文の組み立てを理解すること
⑩漢字や語句などの知識を持つこと ⑪単語の類別について理解すること

- 社会** ①地球のすがたと海洋や陸地の分布 ②世界の国々の構成と地域区分 ③日本の地域構成
④身近な地域 ⑤都道府県調べ ⑥世界の国々とその調べ方 ⑦日本の自然環境の特色
⑧日本と世界の人口 ⑨日本の産業と資源

- 数学** ①正の数負の数 ②文字と式 ③一次方程式 ④平面図形 ⑤空間図形 ⑥関数、比例と反比例
⑦資料の散らばりと代表値

- 理科** ①光と音 ②力と圧力 ③物質のすがた ④水溶液 ⑤植物の生活と体のつくり
⑥植物の分類 ⑦地層と過去のようす ⑧火山と地震

- 英語** ①簡単な英語を聞き取ること ②質問などを聞き適切に応じること ③具体的な内容や大切な部分を聞く
④基本的な話し方を理解すること ⑤考えや気持ちを正しく伝えること
⑥聞き手の意向を理解し応じること ⑦英文の内容を正しく理解すること
⑧文章の大切な部分を理解すること ⑨文字等の知識を身につけること
⑩伝えたい内容を考え正しく書く



できる問題から取りかかり全問答えを書く

このような国や市が行う学力調査の問題は、すべて教科書の内容から出題されています。ですから、よく読んでじっくり取り組めばできない問題はほとんどないのですが、出題の方法が長い文章を読んで答えるものだったり、いくつかの領域にまたがった問題だったり、ふだんあまり経験しない出題方法に戸惑う人が多いようです。また、問題用紙がふだんの学校のテストのような1枚のものではなく、冊子になっていますし、その上、ページ数がかなり多いですから、問題の冊子が配られた時点でテストに取り組む意欲をなくしたり、あきらめたりという人もあるように思います。繰り返しますが、内容は教科書のレベルですから、授業で習っている範囲の問題だということをおぼえて、取り組んでほしいと思います。そして、必ずしも簡単な問題や自分が答えを書ける問題が前の方のページにあるとは限りませんから、全体を見渡して簡単な問題や自分が答えを書ける問題から回答することも有効です。

3年生の調査問題は、選択肢から正解を記号で答える問題がほとんどですので、無回答をなくしてとにかく答えを書くだけでも、正答率がアップします。あきらめずに、全力を尽くしましょう。

(文責:校長 福井 隆夫)